

通信

11

高岡新世紀



高岡市長
高橋 正樹氏
(たかはし まさき)

著作権の関係上、表示できません。

新年あけましておめでとうございませう。皆様の新年は如何お過ごしでしょうか。

丑年の紅白を見て、年越しそばをいただき、除夜の鐘を聞きながら、そして寅年、2010年。時は、確かに連続して刻々と流れていながら、ある瞬間に、新しい年を迎えます。毎年のことではありませんが、普段はアナログ人間の自分が、この日ばかりは「今年こそ」と意気込むのも微笑ましく思えます。

高岡市は、昨年、開町400年という特別の年を迎え、多くの市民の皆様の参加の下、各地域、各分野でそれぞれの歴史を振り返り、再認識して頂きました。長い時間をかけて育まれた、文化、技、心……たくさん宝物を、改めて見つめ直す良い機会ともなりました。これらの宝物にさらに磨きをかけて、未来へ歩み出す一年にしたいと思えます。

インターネットをはじめとする情報手段が発達したことによ

て、地域と地域が直接に結びついて、マルチな都市間交流が活発に行われています。言葉の問題を別にすれば、各都市がそれぞれ、世界と向き合うことができるようになりました。一方で、そのような時代であればこそ、フェイス・ツー・フェイスの対面コミュニケーションが求められて、会議や面会の必要性も増えると思われ

ます。情報を知れば知るほど、直接、見てみたい、会ってみたい、というのも人情でしょう。高速情報通信が可能となった今日、同時に、4年後に迫った北陸新幹線開業や東西・南北の高速道路網など、人物の高速移動手段整備が急がれることも、宜なるかな、です。

高岡開町の1609年(慶長14年)を「紀元」とすれば、今年は何年、いわば高岡紀元の第5世紀の始まりの年です。昨年の市民の盛り上がりやパワーを「高岡新世紀」に繋いで、新しい発展を目指したいと思えます。